

細谷・上戸祭地域まちづくり情報誌

HOSOYA KAMITO

■発行／細谷・上戸祭地域まちづくり協議会

発行責任者：大谷 和大

〒320-0073 宇都宮市細谷町1丁目4-38 Tel・Fax：028-621-7882

(細谷・上戸祭地域コミュニティセンター内)

特別総集号

令和4年3月31日発行

活気に満ちて暮らしやすい

安全で安心して過ごせる

みんなのしあわせがあふれて

人と人のふれあいを感じる「まち」

それが細谷・上戸祭です。



「私と自治会活動」
細谷・上戸祭自治会連合会
会長 三坂茂晴

令和2年2月から当地区の自治会連合会長、3年4月より宇都宮市自治会連合会副会長を担っています上戸祭四丁目の三坂茂晴です。

コロナの影響もあり地域住民の皆様方にご挨拶が出来ず残念に思いますが、コロナと言って自治会活動を疎かにするわけにはいきません。自治会役員会、理事会は休むことなく開催し、情報の伝達・共有化、自治会長相互の連携と活動促進を図ってきました。ここで、上戸祭自治会連合会の『サロン』活動を紹介します。民生委員、福祉協力員、有志者が中心となり高齢者の方々への福祉厚生の一環とし毎月2回開催しております。(今年4月より再開します。)

以前、90歳近い参加者方に尋ねると約2.5キロを自転車から来たとのこと。その方に確認すると「来るのが楽しみなの。距離は関係ありません。みんなに会えることが楽しみ」と答えてくれました。また、これを支えるスタッフの皆さんも『期待に応えるため、全員の英知を集中させ、いろいろな考えを持って実施している。』とのこと。我々自治会活動にも通じるところがあります。

みんなのしあわせがあふれる「まち」の実現、私の理念の顔に見える自治会づくりに努力していく所存です。よろしくお願いいたします。



「苦尽甘来」
細谷・上戸祭地域まちづくり協議会
会長 大谷和夫

栃木県内で新型コロナウイルス感染者が確認されてすでに2年。宇都宮市内の新規感染者も高止まりの状況であり、いまだに終息の見通しが立たず、わたくしたちの暮らしにとてつもない害悪をもたらしている。

この新型コロナウイルス感染症も、医療を支える方々の献身的なご努力と研究成果により、近いうちに必ずや収束に向かい、「苦尽甘来(くじんかんらい)」の如く、苦しい時が過ぎ去り、笑顔の溢れる日々が、再び訪れるものと期待に胸を膨らませているところであります。

どうか、みなさんも、ワクチンの接種を含め、さらなる、マスクの着用や手洗い、換気、三密を避けるなどの感染予防対策を引き続きしていただきますようお願いを申し上げますとともに、世の中が平和で、人々が安心して暮らせ、しあわせでありますようご祈念申し上げ、「まちづくり情報誌」発刊の挨拶とさせていただきます。

(ご退任)

「細谷・上戸祭地域の皆様とともに」
北市民活動センター 所長 手塚 幸市



北市民活動センターでは、主に地域の皆様によるまちづくり活動の支援を行っています。細谷・上戸祭地域は、まちづくり協議会や自治会などによるまちづくり活動が活発であり、私も地域の皆様が主催する高齢者の生活支援や生活交通の確保に向けた検討会議などに参加させていただく中で、皆様のまちづくりに対する熱意を強く感じています。今後も皆様とともに地域をさらに盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「地域に信頼される窓口作り」
宇都宮市宝木出張所 所長 渡辺 隆



宝木出張所では、日常生活に関係の深い証明書の交付や届出の受付、市税の収納などの業務を取り扱っており、最近では、マイナンバーカードの普及促進に伴い、申請や交付手続きで訪れるお客様が増えています。今後とも、地域に寄り添った対応を心掛け、地域の皆様に安心してご利用いただける窓口づくりに取り組んでまいりますので、お気軽にご相談ください。(ご転出)

「笑顔いっぱい学校&まちづくり」
宇都宮市立細谷小学校長 浪花 なをみ



細谷・上戸祭地域まちづくり協議会の皆様には、この2年間、様々な場面で学校を支えていただき、心より感謝申し上げます。特に、本協議会の皆様が、地域の皆様の安全・安心を守るために献身的に取り組んでいるお姿に触れ、深く感銘を受けました。お陰様で、細谷小の子供たちは、地域に守られ、明るく笑顔いっぱいに生活しております。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。(ご転出)

「古き良き時代」
宇都宮市立上戸祭小学校長 黒田 昌宏



細谷小学校を卒業生して、45年が過ぎました。震災で崩れて今はありませんが、卒業制作でレンガに自画像を掘って、正門横の壁に飾った第1期生です。当時は、毎朝登校すると校庭に飛び出し、学年を超えて仲良く遊びました。また、放課後には、朝礼台にランドセルを置いて、下校のアナウンスが流れるまで遊ぶことが許された時代でした。毎日、学校に行くことが楽しかった、懐かしい思い出です。(ご転出)

「各種募金・賛助金」報告

募金はわたくしたちの地域を豊かにする活動や福祉の充実等に使われています。
多くの皆様のご協力に感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

細谷・上戸祭地区自治会連合会
細谷・上戸祭地域まちづくり協議会

<募金は宇都宮市社会福祉協議会などの関係団体へ納めさせていただきました>

令和3年度の実績

実施月	募金・賛助金等募集運動の種類	金額
5月～	社会福祉協議会会員募集	1,057,450
6月～	日本赤十字社資募集	1,298,262
10月～	赤い羽根共同募金募集	886,815
11月～	歳末たすけあい募集	665,410
	合計	3,907,937

令和3年度表彰

栃木県知事 感謝状 受賞

<自治活動功労者表彰>

上戸祭3丁目自治会 荻野 浩史 様

<安全で安心なまちづくり功労団体>

細谷県住自治会子ども見守り隊

宝野自治会子ども見守り隊

宇都宮市長 感謝状／表彰状 受賞

<自治振興功労者表彰>

上戸祭2丁目自治会 柏崎 泰一 様

<宇都宮市清掃事業協力者>

上戸祭2丁目自治会 朝日 貞雄 様

若草4丁目自治会 吉田 輝雄 様



暮らしの困りごと相談窓口を開設しています。

「細谷・上戸祭地区自治会連合会／細谷・上戸祭地域まちづくり協議会」は、みなさんが毎日の生活を「しあわせ」に暮らしていけるよう、いつも願っています。

地域にお住いの皆さまから、日々の暮らしの困りごとなど、どこに相談して良いのかわからない、といった暮らしの相談窓口です。どうぞ、お気軽にご相談ください。

営業時間 細谷・上戸祭地域コミュニティセンター内事務局
TEL/FAX 621-7882

時間 月・水・金 祭日を除く (13:30～17:00)





当協会は、地域の皆様の「健康増進」「地域スポーツの振興」とスポーツを通じ地域の皆様の相互理解を深める事を目的とし運営しております。執行部役員12名で構成し市スポーツ協会との連携を図りながら事業計画の立案・運営活動を行っています。現在平常通りの活動が出来る事を祈りつつ令和4年度の事業展開について諸準備を進めています。今後も地域の皆様の健康増進の一環として多くの方がスポーツに親しんで頂ける事を目標に地域の皆様が参加し易い仕組みづくりの実現に向けて活動を進めてまいります。



毎年1・2年生の行事として、5・6年生が書いた地域の特色がよく描かれている手作りのかるたでカルタ取り大会を行ってきましたが、令和3年度も前年度同様にコロナの影響により開催することが出来ませんでした。そこで、今年度は5・6年生が書いたかるたをオリジナルのカレンダーにして育成会会員の児童や令和4年度に細谷小・上戸祭小に入学予定の新1年生などに配布しました。



当協議会では、昭和63年から65歳以上のひとり暮らしの高齢者を迎え、手作りの食事会を開催し喜ばれています。毎回約25名の参加があります。昨年コロナの影響で休止もありましたが、食事方法を手料理から仕出し弁当の持ち帰りに変更しました。参加者からは、食事の他に教養講座や演奏会等もあり、楽しみにしていますとの声が寄せられています。スタッフ一同がんばっています。



現在福祉協力員は72名で活動しています。主な活動内容は高齢者の見守り、敬老会、ふれあい食事会への協力、サロン事業、地域活動の参加協力、知識向上研修会です。コロナ感染防止の為、活動が制限されていますが声かけ・訪問活動が現況の不安を和らげる私たちの使命感だと思っています。これからも関係団体皆様のご指導を頂きながら福祉の町づくりを目指して活動していきたいと思ひます。



私達が地域の相談員民生委員です。お困り事はぜひご相談を。秘密厳守します。



11月1日上戸祭2号公園で上戸祭小児童と見守りボランティアさんの交流会を行いました。天候に恵まれ、輪投げやストラックアウト等のゲームや、お菓子を景品にジャンケン大会で盛り上がり子供も大人も一緒になって楽しく過ごしました。会の終わりに、児童から感謝のお手紙と花束が一人一人に手渡され和やかな雰囲気での終わりました。月曜の朝、子供たちの挨拶が大きな声に変わっていました。ボランティアの皆様ありがとうございました。



本会は女性の教養の向上並びにボランティア活動をとおして会員相互の親睦・融和をはかることを目的とする会です。目的達成のための主な事業は、学習センター文化祭、地区体育祭、防災フェア、農業祭等への協力、成人式のお手伝い、会員の新年会、研修旅行等です。このコロナ禍で活動が制限されていますが、久しぶりに昨年11月に足利学校などの研修旅行で見聞を広めてきました。